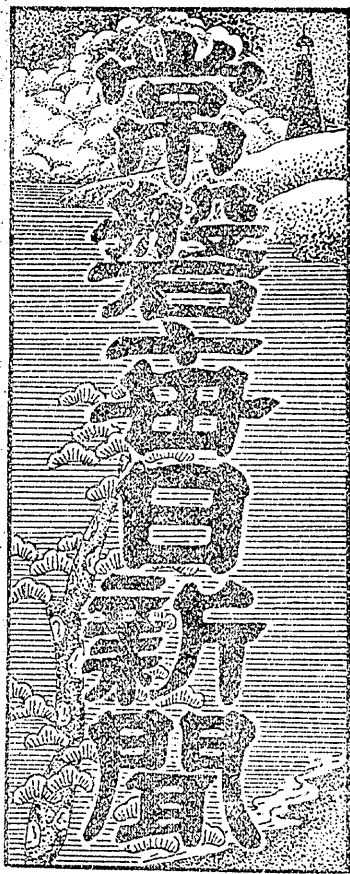


【刊夕】日六月三



原五税郵錢十五月一錢貳金部一
 錢十五行一語字三十號五料告
 治文崎川入刷印入編編兼行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
 社會式株刷印日每警常 所刷印

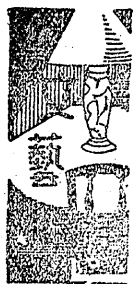
映畫物語

踊子行狀記

解説 犬養一郎

貴公には年寄られた母御が居る、拙者は獨身者遠國へ旅立つたとしてその日の生活には困りませぬ、と友人恩地作十郎の殺人罪を負つて大口屋九郎兵衛の手引で踊子誰彌の宅へ匿はれた安堂右馬之助だつたがいつしか誰彌はその男らしい安堂に戀する身になつてゐた、然し日とも安堂の詮議手厳しいと知るや作十郎の母は愛子に自首を促し自害して果てた、自首を決して作十郎は大口屋ととも安堂を訪れる途中一刀組の澁川典膳の爲めに手籠にされんとするに誰彌の妹分千彌の危急を救はんとして危機に迫つたが大口屋の知らせによつて馳せつけた安堂によつて救はれた、だが其儘安堂は何處へともなく身をかくした、その夜から誰彌は行方知れぬ安堂の面影を忍んでさびしい幾日かを過した、その頃安堂は高崎の宿で救はれた曳舟屋吾兵衛への恩儀によつて小松屋紋七及びその付人村越齋人を殺して捕へられてゐたが安堂高崎にありと知つて馳せつけた誰彌は郡奉行村越半兵衛に己の身を捧げてその命を乞ふた、思ひもかけぬ助命にそれとも知らぬ安堂は高崎を去らんとしたがその時馳せつけた吾兵衛によつて誰彌が操をかけたの助命だと知るとともに手筈して半兵衛宅に斬込み誰彌の危機を救つた、丁度その頃澁川は千彌を我物にせんと大口屋に忍び込みあやまつて千彌を刺し、馳せつけた作十郎と争つたが通り合せた御書院番水城頼母の姿を見ると作十郎を斬つて逃げのびた作十郎は今も臨終のざん悔にと安堂の無罪と已れの罪を告白して死んだ安堂はその總てを聞いて嘆いたが澁川が仇としての確かな證據としてなくその受るべき手段さへなかつた、而しその時澁川に裏切られた踊子團丸の密告によつて仇が澁川なることが知れ、頼母の計りにより澁川に大

口屋が千彌の代りに誰彌を媒介つと誘き寄せあん堂は誰彌とともその仇を討つた



童謡詩
 壁ぬり
 市川健次

土藏の壁ぬる秋ばれよ
 足場がゆらゆら秋風よ
 左官は平気で壁ぬるよ
 見あげるおいらさい取りよ
 暎毛にちらちらぬくい日よ
 遠くで百舌なき父さんが

おーい左官屋
 お晝だよー。

贈つて重寶
 貴つて便利な
 三井の券品商
 三井呉服店

貸切の御用命は？

獅子ク(四四九)ノ勢デ

眞先ニ……(マツサキ)

三九ニタクシーへ!!!

平陽女學校入學案内

募集人員

本部大臣認可
 本 科 二ケ年卒業 五十名
 師範科 二ケ年卒業 五十名
 技藝高等科 二ケ年卒業 五十名
 全 速成科 一ケ年卒業 三十名
 全 専攻科 一ケ年卒業 二十名
 右各科共入學ヲ許シマス希望者ハ入學願書ニ履歷書ヲ添ヘ三月末日迄ニ本校宛提出シテ下サイ入學願書ハ本校宛申越下サレバ差上マス
 福島縣平町
 平陽女學校
 電話四四五番

不思議膏

奇妙に良くきくハリグスリ
 神経痛、かたのこり
 うちみ、くぢき、リ
 ウマチス、齒痛
 ハツテ御覽なさい
 驚くばかり特効あり
 特約店
 小野屋藥店
 平町四丁目
 電話一四四

お醤油は ヤマフル

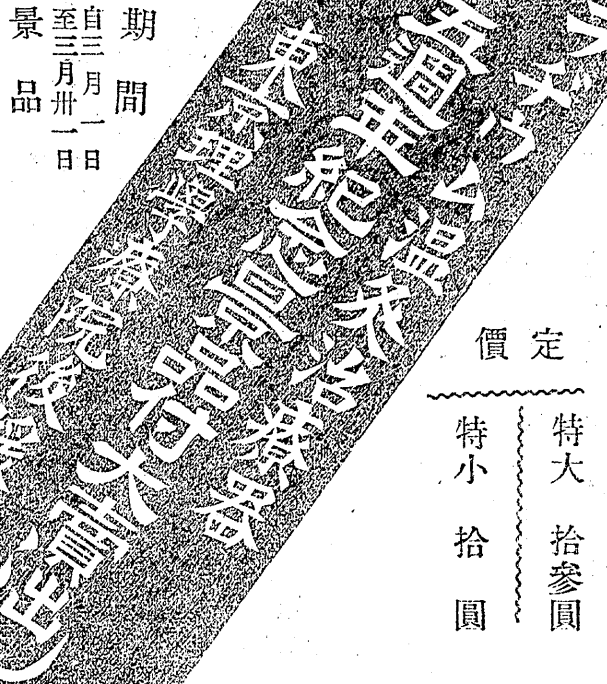
醤油味噌
 たひら 正宗
 経節 食料品

山崎合名會社
 電話 福島縣平町
 (營業部一〇番)
 (醸造工場二七番)

廿餘名博士 推獎
 五十餘名醫大家

胃腸病、婦人病必治法

價定
 特大 拾參圓
 特小 拾圓



期 間
 自三月一日
 至三月卅一日
 景 品
 特大一ケニ付巻法藥一ケ
 特小一ケニ付艾一ケ
 其他粗品進呈
 平町五丁目廿八
 志賀齒科醫院
 平町白銀町九
 產婆 關口悦子

田租の未納者

四百名を越ゆ

税務署員を驚かした
深刻な不景氣の影響

平税務署管内田租第二期分の納税期日は去る二月二十八日であつたが従来これが滞納者は殆んど無かつたにも拘はらず今回は納税総額三萬二千圓のうち九百三十圓の滞納があり人員は四三六人に達してゐるので成績は頗る悪いため係員は驚いてゐる

郡農會で 茶種栽培

頗る良好

石城郡農會では二毛作獎勵策として茶種の栽培を大いに奨励しその指定試作地三

養蠶組合 豫算三割減

繭價暴落で

石城郡養蠶同業組合では十四日組合事務所にて總會を開き明年度豫算四千五百圓を附議決定するが前年度に比較し三割の減である、これは繭價暴落により農村が極度に疲弊してゐるので負擔金の軽減をはかつたため片倉磐城製糸よりの寄附金が昨年より七百圓から減じられた結果による

鎌田火防組 十年勤績者

八日表彰式

平町鎌田町火防組合では来る八日役員改選を行ふが當日は同組に十ヶ年間に勤績した左の三氏に對して表彰式を舉行すると

松山鶴松、猪狩喜四郎、龍田留藏

毎朝一杯の灰を取り

婦人が煙草耕作改良

川前部落の灰取組合

石城郡川前字澤尻部落では宇佐美寛氏が主唱となり婦人の灰取組合を創立し昨年十一月一日から灰取を實行して來たが成績極めて良好で既にいづれの農家も反當り二十貫以上の草木灰を準備してゐるその實行法は毎朝爐から十能で一掃つづの灰を取りこれを火災の心配ないやうブリキ罐に蓄へ火氣の心配がなくなつてから俵につめて置くもので全部落一戸洩れなく實行してゐるがこれは煙草耕作改良のため婦人らしい事業として斯界にもはやされてゐる

滿鮮旅信

川崎小島

五日午前十時から平町四丁目丸友書店樓上に開會明年度豫算一千三百圓を附議決定後左記三氏を産業組合功勞者として表彰した

植田町中利保、江名町四家忠平、四倉町宮内篤二

功勞者表彰

明年年度豫算

一千三百圓
産業組合石城郡部總會は

薩摩汁

五〇瓦(約一三三夕) つて清潔にし切りと豚の小間切を入れ、赤味噌四五瓦(一二二夕) 人参は厚さ二次に赤味噌を加へて〇夕) 大根三〇瓦(八分位の輪切りにし、一度沸騰させます。材料(一人前)豚小間 〇夕) 鹽、醬油、酢 コシニヤクは短冊形切四〇瓦(約一〇七適宜)以上で蛋白質に切つておきます。〇夕) 里芋三〇瓦(八一二〇瓦、カローリ 鍋に適量の水を入れに盛り、酢醬油をか〇夕) 人参二〇瓦(約二二九となりませ) て里芋と人参を煮、けませます 五三夕) コシニヤク 調理法 里芋は洗 や、軟かくなつた時

反歩及び一般栽培地約二町歩に栽培中であるが生育状態は頗る良好で大部分本田定植を終了したが目下の模様では豫期以上の成績を擧げる事が出来るだらうと

空に、赤い山が重疊してゐる様は確かに内地で見られぬ一異觀だ、そして鳥が群れ飛ぶ田の中には、黒丸を書いたタコを揚げてゐる子供達が見える、今僕の乗つた汽車の走つてゐる土地、此處が幾多の犠牲を拂つて獲ち得た日本の延長かと思ひば、國力の偉大さに對する感激が胸をゆすぶる……

平町人事

出生

△村木町三五 大平靜氏三男啓助
△南町五一 佐藤利兵衛氏三女英子
△堂ノ前一六 會澤正夫(五九)

死亡

△堂ノ前一六 會澤正夫(五九)

キングパスト

理想的耐水耐熱接合劑

●水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑

●一名コナニカワ

●四季を通じ一度ついたら膠着力は絶對的です

●理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發し防腐の効果著し

小野屋藥店

電話一四四番

産婆開業

私事三井鑛山株式會社湯本鑛業所に開業致して居りましたが今般左記の所に轉居開業致しました何卒御引立を御願申上げます

●妊婦 ●産婦 ●婦 ●生兒
安全に、努めます

御困りの御方には無料で御扱ひ致します

平町田町五十二番地(安齊外科醫院入口角)

産婆 白石テル (呼)電話六五三番

定め

一、總て洋品雜貨はモリタヤ洋品店へ御下命下さる可き事

一、殊の外學帽カバン等の通學用品はモリタヤに限る可き事

一、御用命は電話353へ御仰付下さる可き事

右の條々かたく相定め候也

吉田眼科病院

平町屋町、電話六八番

貸切の!

御用命は

三十一年式モダン型

ランドーセダンの

磐城タクシーへ

電 五五九

晴れの卒業式に かどやく卅余名

幾多の思ひ出をあとに
さらば懐かしの母校よ

明日の授賞者

愈々明日！幾多の追憶を高
月臺上に秘めて通ひなれし
母校をあとに集立ちゆく若
人たちの晴れの卒業式が舉
げられる、顧りみれば風雪
をいとはず學びの道にいそ
しんだ五星霜に二百の健兒
の思ひ出は盡きぬものがあ
るだらう、それらの感激を
胸に抱いて卒業する中に學
術操行優良者及五ヶ年無缺
者五ヶ年間正副級長を勤続
した者は左の如くで當日橋
本校長より夫々表彰される
筈

▼學術操行優良者
星恒雄、鈴木雄四郎、鈴
木治、吉田源太郎、小野

彌久

▼五ヶ年無缺席者
草野源正、草野道男、草
野勝雄、豊田満、岩切英
男、吉田源太郎、小野彌
久、木田茂正、馬目善將
金澤正重、大平國衛、富
岡七郎、加藤友常、永山
孝長、草野政嗣、星野陽
造、鈴木雄四郎、仲野正
雄、森大應、永井正次、
齊藤富次、市村三郎、酒
井喜七、松本正夫、佐藤
弘、柴田久壽、坂田正利
馬目俊次、蛭田政博、猪
狩弘、大形新一
▼五ヶ年級長勤続
三邊武右工門

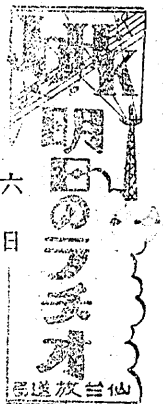
須賀川から

髪結ひにきた藝妓

實は可愛男と徘徊中
平署員に取押へらる

須賀川町八丁目若月イテ方
抱藝妓子事茨城縣那珂郡
平磯町生れ黒澤ナツ(三)は
五日午前九時頃郡山市某結
髪店へ行くと稱して出かけ
たま、歸宅せぬので捜索の
結果前借千五百圓を踏倒
し平町方面へ逃走した事判

明した爲め平署へ取押へ方
打電して来たので直ちに署
員が捜索の結果茨城縣久慈
郡太田町當時須賀川町八丁
目花田末吉方店員小林榮太
郎(三)と共に平磯構内を徘徊
中を發見取押へられた



六日
報豫氣天
今晚も明日も北
西の風晴れ

▼前七、〇〇 ラヂオ体操
▼前九、〇〇 氣象通報經
濟市況
▼前九、二〇 料理献立「肉
つゝみ玉子」澤田キヨ發
表日用品値段
▼前九、三〇 經濟市況
▼前一〇、三〇 家庭講座
「母の留守」池田豊穂
▼前一一、四〇 經濟市況

海軍ナイフを振廻し

カフェーで大亂闘

飲酒泥酔の果てに
全治三週間の重傷

五日午後八時頃平町研町某
カフェーに於て石城郡好間
村北好間權現堂一二生れ平
町研町谷地モト方雇人白井
敏雄(三)は内郷村宮草原松
次郎(五)と些細のことから
口論となり大亂闘をなして
敏雄は組みふせられるやか
くし持つたる小型の海軍ナ
イフを持つて松次郎の右頸
部を突きさし全治三週間の
重傷を負はせられた爲め平署に
檢舉され目下取調中

また家出人

平町に潜伏

埼玉縣大宮町一〇四三居住
澤桃太郎(五)は去月二十八
日逃走行衛を晦したが最近
平町地方に潜伏して居る事
が判明したので六日家人か
ら平署へ捜索願に及んだ

悪周旋屋

平署へ檢舉

石城郡内郷村字宮山邊留吉
(四)及び松崎金太は無免許
で去月中旬同村松治長女松
澤いち(三)及び水戸市富田
かつ(三)の兩名を料理店へ

看護婦急派 の求めに應 じます

平看護婦會

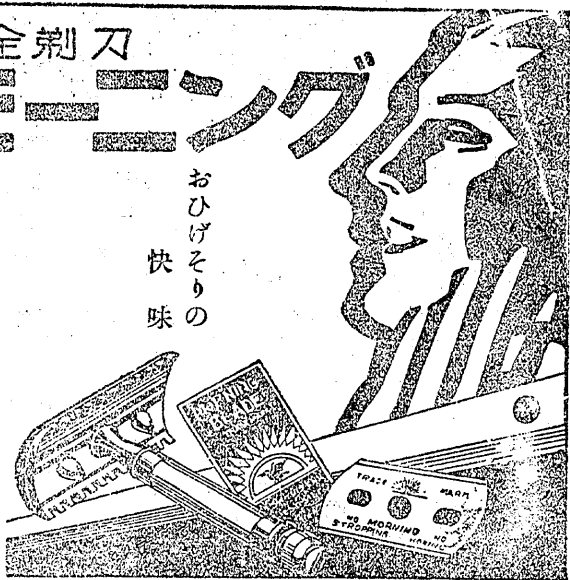
電話三〇七番

方別と應用「恩地孝四郎
後二、三〇 經濟市況
後三、四〇 氣象通報
後三、五〇 經濟市況
後四、〇〇 全國ニュース
後五、三〇 經濟市況
後五、四〇 今晩の番組
後六、〇〇 子供の時間少
年講談「中江藤樹」野村無
名庵
後六、三〇 英語講座「中
等科」第三講の六上條辰
藏
後七、〇〇 全國ニュース
氣象通報 番組預告 告知
事項

後七、二五 趣味講座「浮
世繪の味」文學博士 笹風
臨風
後八、〇〇 新日本音楽
「春の夜」小林操樂他
「嘆き給ひそ」初便り
「碇」尺八引地衆山
鶴殿
後八、三〇 琵琶「元寇」林
鶴殿
後九、〇〇 映畫物語「法
の外」金野晴洋伴奏指揮
紺野毛利夫
後九、四〇 時報全國ニユ
ース 氣象通報 番組預告
告知事項

モーニング替刃

日本人のおひげそりに一番適した



安全剃刀
モーニング
おひげそりの
快味
安全剃刀機械
一枚刃付四十五錢

日本人的な剛い鋭にステキな
切味を示す
刃の切味に當り外れがない
普通替刃の三倍以上保つ
價格至廉替刃中でも經濟第一位

平町五丁目 發賣店 釜屋商店

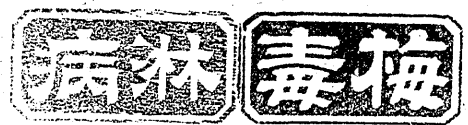
地方雜貨店物店でも
居てし賣販すまり

セメント
壁用材料
コールター
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目電話三

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番



淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病

松村科醫院
電話一七〇



おぼえ

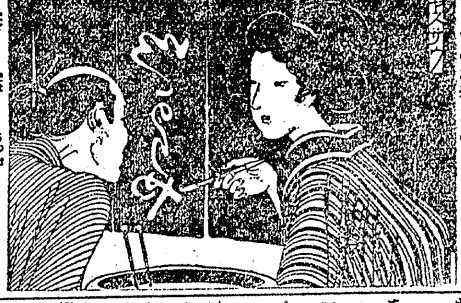
東京 橋場船刺

(米田安藏遺)

お千代が驚く考へて居るので、千代は「姐御、此の野郎の言ふことは餘程聞きをして、聞かぬと飛んだ間違ひが出来ませぬ」と注意した。

お千代は「夫れは勿論の事、ダガ千代、紋蔵の言つたところは、何處まで本當なのだらうお前考へたらば一寸言つて聞かして」と突つた。

「然うですなア、此の野郎の事です、當人の承知不承知に拘はらず無理に鑛屋へハメ込んだんでせう、其の證據には二十兩の金……イヤ最ツト取つて居るでせう、露文食つたと云つても知れたものだ、腕は二十兩かも知れぬが、外に一兩二分なぞと違ふもねへ」



「お千代は千次に向ひ、此の二人はお前に居るから、鑛屋の間に居つて居るお呉れ、鑛屋の家々に火が入つた頃なのだ、鑛屋と云ふのは、鑛屋で、入口に……」

「お千代は千次に向ひ、此の二人はお前に居るから、鑛屋の間に居つて居るお呉れ、鑛屋の家々に火が入つた頃なのだ、鑛屋と云ふのは、鑛屋で、入口に……」

慢性諸病ニ的確ナ

紫外光線治療

天佑堂

治療時間 自午前九時 至午後九時 平田町一九 (藤田女學校南横通り) 末廣亭向ヒ

ヨウモーターン！
いゝ服を求めたね
斷然三一年型だよ
いやコレカネ
例の……「ソレ」

正札堂

六三四電通場車停目丁四町平

君知るや

山崎時計店を……

親切で堅くて信用のある店
修繕物は叮嚀・迅速・破額なり

山崎時計専門店

五丁目新川町通り
(吉田屋染物店前)



一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

電話六三〇番

(申込次第規則書進呈)

耳鼻咽喉科専門

場所 舊診療所裏通り

合津醫院

平町仲用町 電話五五九

て總は命用御の物刷印
番〇三六話電 會社刷印日每警常

△貸切は!!!

親しみあるサービス
を以つて知られたる

尼子タクシーへ

電話六四〇番

主任 澤正路

専門 内科一般

住宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

電話一八一番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

第廿五回 生徒募集

- 一、卒業は産婆看護婦兩科通じて一ヶ年
- 一、入學資格 高等小學卒業又は同等以上の學力ある者へ無試験入學を許す
- 一、申込期日 四月五日迄

平看護婦學校

校長 清野キヨ
電話三四七番